



睡眠時無呼吸症候群

土岐市立総合病院 耳鼻咽喉科部長 伴野 真哉



睡眠時無呼吸症候群 (Sleep Apnea Syndrome) 以下「SAS」という。とは、寝ているときに何度も無呼吸や低呼吸を繰り返す病気です。睡眠は昼間の活動で疲れた体と脳を休息させるためのとても重要な時間であるため、夜間熟睡できないこの病気は日中の過度の眠気や、高血圧、循環器疾患、脳血管障害、糖尿病など多岐にわたる合併症、重大な交通事故や労働災害などの原因となりかねない怖い病気です。SASが招く合併症は、SASではない方と比べると、①高血圧の危険性は2倍、②冠動脈疾患の危険性は3倍、③脳血管障害の危険性は4倍、④心筋梗塞の危険性は4倍、⑤交通事故を起こす危険性は7倍といわれています。

一般的に肥満症の方や顎が小さい方が罹りやすいといわれており、その潜在患者数は人口の2〜4%で、土岐市を例にとると人口約6万人のうち1800人ぐらいの患者が潜在していると考えられます。

診断は問診と終夜睡眠ポリグラフ検査で行います。当院では、終夜睡眠ポリグラフ検査は自宅で行う簡易型スクリーニング検査と入院して行う確定診断の精密検査を行っております。精密検査では睡眠中の脳波・眼球運動・おとがい筋筋電図を基本に、呼吸、呼吸努力、心電図、動脈血酸素飽和度測定、体位等を同時に記録することにより睡眠深度、睡眠中の呼吸及び循環の生理現象を評価できます。

軽症から中等症の場合は、減量や生活習慣を改善すること、口腔内装置（マウスピース）を装着するなどの治療により改善することもあります。重症の方の場合は、生活習慣を見直すとともにCPAP（シーパップ）療法や手術による治療が適応となることもあります。CPAP療法とは、寝ている間の無呼吸を防ぐために、専用の鼻マスクを装着し気道に空気を送り続け

気道を押し広げてノドの塞がりを防ぐ治療です。昼間の眠気や、起床時の頭痛、運転中に居眠りをしたことがある、イビキがひどいと指摘された事があるなど、気になる症状のある方は、一度当科までご相談下さい。

理念

地域の信頼に応えるために
良質な医療を行います

基本方針

1. 人間尊重の医療に努めます
2. 常に研鑽し質の高い医療をめざします
3. 安全で満足できる医療を提供します
4. 医療をとおして地域社会に貢献します

脳卒中センターのご紹介

平成27年1月1日より、当院「脳卒中センター」では、24時間体制で「脳卒中」患者さまの直接受け入れを行っています。



脳卒中センター長
北島英臣



◀脳卒中って？



脳卒中は脳の血管の病気です。脳の血管が詰まって脳が壊れる脳梗塞（のうこうそく）、脳の血管が裂けて脳が壊れる脳出血、脳の動脈瘤（血管のこぶ）が破裂するくも膜下出血があります。脳卒中に苦しむ大部分の患者さまは脳の血管が詰まってしまう脳梗塞です。



◀どうして脳卒中は怖い病気なの？



脳は壊れたら治りません。だから他の病気と異なり脳卒中は、一命をとりとめてもしばしば半身まひや言語障害などの後遺症が残ります。日本ではねたきりになる方の大部分は脳卒中が原因です。



◀脳卒中になったらどうしよう？もう助からないの？寝たきりになっちゃうの？



脳の血管は詰まってもすぐには壊れません。まだ仮死状態です。この時に早く治療すれば助かる人がたくさんいます。寝たきりにならずに歩いて退院できる人もたくさんいます。



◀どんな症状で病院へ行けばいいの？



手足の麻痺、言葉をうまく話せない、ろれつが回らない、視野の片側が見えないといった症状があります。脳の危険信号として注意が必要です。様子をみないですぐに救急車を呼んで下さい。



◀どこに行けばいいの？どのような治療をするの？



すぐに脳卒中の治療ができる病院（脳卒中センターがある病院）へ行くことが大事です。そこではすぐにMRIや脳血管撮影などの検査をします。そこで血液がサラサラになる点滴をしたり、カテーテル手術で血管に詰まっているごみ（血栓）をとって再開通させる治療をします。適切な治療を素早く行うことで元気になる可能性が高くなります。

脳卒中センター の特徴

- ①脳卒中うたがいの患者さまを**24時間**受け入れています。
- ②脳卒中かどうかの診断、検査を**24時間**行っています。
- ③脳卒中の最先端の治療を**24時間**行っています。

日本では5人に1人が脳卒中を発症し、9人に1人が亡くなっています。また寝たきりの方の原因の4割近くが脳卒中の後遺症です。脳卒中には脳出血、くも膜下出血、脳梗塞がありますが75%は脳梗塞です。脳梗塞は脳の血管が詰まって血が流れずに脳が死んでしまう病気です。ひとたび脳梗塞になるとその部分の脳は回復せず、重い後遺症が出てしまいます。しかし、最近では脳梗塞になる前に仮死状態の脳があることがわかっています。ここに早く血を流してあげれば脳の機能の大部分が回復します。つまり、脳梗塞の治療は発症早期であればあるほど回復の可能性が高く、すぐに治療を開始することが必要です。

脳梗塞の治療が特に有効なのは発症から4.5時間以内ですが、最近の画像検査や治療の進歩では発症から8時間以内でも回復させることが可能な方もいます。次に大事なのは適切な検査を素早く行うことです。早期のMRI検査では脳梗塞の診断も可能で、さらに詰まった血管もわかります。その後詰まった血管をカテーテルなどを使って再開通させます。欧米や日本の研究結果からは、詰まった血管を再開通させると明らかに後遺症が少ないことがわかっています。

当院ではカテーテル治療を行うための最新の装置や機器を導入し、治療は飛躍的に進歩しました。なんと70%の患者さまの詰まった血管を再開通させ、50%以上の方が歩いて退院されています。

脳卒中の治療は日々進歩していますが、当院も最先端の治療をめざし、救急外来の看護師、放射線技師、医師を含めてチームで治療しており、最近ではかなり良好な治療成績をあげています。今後も努力して地域の福祉と脳卒中治療に寄与してゆきたいと考えています。

正規職員を
募集しています。

- ◆薬剤師……………若干名
- ◆視能訓練士……………1名程度

- ◆作業療法士……………1名程度
- ◆介護員……………若干名

（詳細は、総務課☎0572-55-2111 内線2860までお問い合わせください。）

新しい医師を紹介します



眼科 部長
水谷 匡宏 ともファミリークリニックより

7月より赴任しました眼科医師の水谷匡宏です。皆様の目の健康を第一に考え、地域医療に貢献できますように頑張る所存です。

7月1日から



循環器内科 部長
住田 有弘 ノースカロライナ大学より

この7月より総合病院の循環器内科に勤務させていただいております。患者様の生活習慣病の改善に、微力ながらお役に立ちたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。

7月1日から



耳鼻咽喉科 医長
清水 崇博 愛知医科大学病院より

外来診療から手術治療まで幅広く、地域の皆様に貢献できるような医療を提供していきたいと考えています。よろしくお願致します。

4月1日から



内科
脇田 隆寛 公立小浜病院より

4月より内科医として勤務しております。地域の皆様の健康に寄与できるよう精進いたします。よろしくお願いたします。

4月1日から



研修医
柏木 博道

本年4月より土岐市立総合病院にて研修させていただくことになりました。至らない点ばかりですが、皆様のお役に立てる様に努力していきたいと思ひます。よろしくお願致します。

4月1日から



研修医
水野 佑也

4月より、地元の土岐市立総合病院で研修させていただくことになりました。土岐市の皆様のお役に立てるよう、日々精進していきたく思ひます。何卒よろしくお願いたします。

4月1日から



研修医
山川 耕平

今年、4月から土岐市立総合病院で研修させていただくことになった山川です。まだまだ勉強が足りないですが、いろいろ学んでいつ皆様の手助けをたくさんできるように努力していこうと思ひます。皆様よろしくお願いたします。

4月1日から



研修医
新見 隆夫

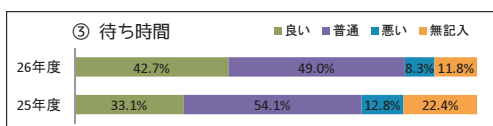
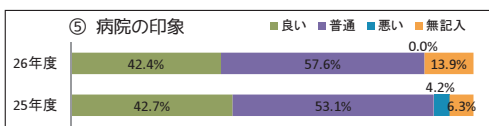
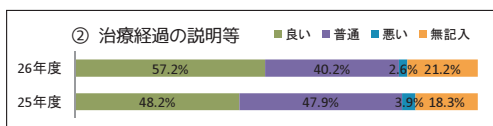
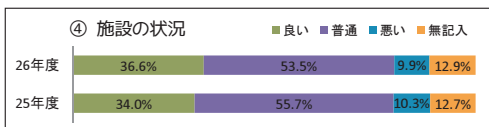
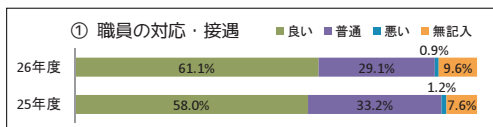
4月1日から土岐市立総合病院で研修医として勤務することになりました。修行の身としてはかなりの年齢ですが、毎日患者さんと接するたびに新鮮な気持ちで過ごしております。土岐市民の為に尽力できるようにゆっくり確実に腕を磨いていきたいので至らない点ありましたらご指摘いただけると幸いです。地域にとって必要不可欠な公僕として定年まで勤務することが私の第一の目標です。

4月1日から

患者満足度調査

★アンケートへのご協力ありがとうございました！

2月に実施した入院及び外来のアンケート結果の概要をお知らせします。アンケートでは①職員の対応・接遇、②治療経過の説明等の情報提供、③待ち時間（外来のみ）、④施設の状況、⑤病院の印象（入院のみ）について調査しました。



25年度に比べ「良い」が若干増加し、悪いも減少傾向にあります。皆様にいただいたご意見を大切に、更に満足していただけるよう努めてまいりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

身障用駐車場の使用について

身体障がい者用の駐車場は、お体が不自由な方等がご自身で車を運転されて来院された場合に利用していただくスペースです。しかし、残念なことに時々「健常な方」が駐車されているとご意見をいただくことがあります。マナーを守ってご利用いただけますようお願いいたします。



外来診療表

平成27年7月

診療科名		月	火	水	木	金	備考
内科	1診(内分泌)	吉田 仁美	川喜田 節代	安藤 詩奈子	吉田 仁美	川喜田 節代	*3診(新患)以外は予約制
	2診	高橋 光太 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科)	加藤 俊夫 (呼吸器)	山内 辰也 (血液内科)	浅野 周一 (呼吸器)	
	3診(新患)	芦刈 ゆみ	上田 一裕	当 番 医	堀井 誠	脇田 隆寛	
	5診	堀井 誠 (内科一般)		脇田 隆寛 (内科一般)	上田 一裕 (内科一般)	池庭 誠 (内分泌)	
	6診(循環器)	亀谷 良介 青山 英和		住田 有弘		住田 有弘	
	7診(消化器)	荒田 真子 ~10:30	荒田 真子 ~10:30	荒田 真子 ~10:30	清水 豊	荒田 真子	
	透析予防外来(PM)				池庭 誠 (内分泌)		
神経内科	2診	三竹 愛子	土川 聡	芦刈 ゆみ	三竹 愛子	土川 聡	*予約制
	3診	高橋 典三	大塚 康史	高橋 典三		大塚 康史	
	内科10診		河野 親夫			三竹 重久 (PM、もの忘れ外来)	
腎臓内科		村山 慎一郎	村山 慎一郎	三輪 真幹	村山 慎一郎	村山 慎一郎	
外来ドック室		清水 豊	清水 豊	川喜田 節代	芦刈 ゆみ 脇田 隆寛	上田 一裕 堀井 誠	*予約制
整形外科	1診		西本 聡	木村 昌芳	西本 聡	西本 聡	*予約制
	2診	吉岡 靖子					
	3診	市瀬 彦聡	前田 篤志		志貴 史絵		
	特殊外来(PM)					中川 研二 (第1・3週)	
外科	1診	伊藤 昭宏	榎間 勝利	伊藤 昭宏	川西 順 (血管外科)	榎間 勝利	*予約制
	2診	大本 孝一	大本 孝一	榎間 勝利	伊藤 昭宏	川西 順 (血管外科)	
	呼吸器外科外来(PM)					沼波 宏樹	
小児科	1診	元吉 史昭	元吉 史昭	元吉 史昭	川本 典生	元吉 史昭	*予約制
	2診		中野 正大				
	特殊外来(PM)	(予防注射) 元吉 史昭	(喘息・アレルギー) 元吉 史昭		(喘息・アレルギー) 元吉 史昭		
耳鼻咽喉科	1診	清水 崇博	清水 崇博	清水 崇博	清水 崇博		*予約制
	2診	伴野 真哉	伴野 真哉	伴野 真哉	伴野 真哉	第1・第3 清水 崇博 第2・第4 伴野 真哉	
眼科	1診	森田 裕		森田 裕	平野 佳男		*予約制
	2診	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	水谷 匡宏	
産婦人科	1診	田中 隆行			大須賀 智子	田中 隆行	
脳神経外科	1診	野田 伸司	北島 英臣	野田 伸司	米澤 慎悟	北島 英臣	
形成外科		中屋敷 典久	中屋敷 典久	中屋敷 典久	中屋敷 典久	中屋敷 典久	
泌尿器科	1診	金井 茂 山本 徳則	金井 茂	山本 徳則	金井 茂	金井 茂	
歯科		横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	横井 彰	*予約制
精神科	1診		加藤 美樹	加藤 美樹	加藤 美樹	鈴木 幹央	*予約制
	2診		曾根 靖貴			関 正樹 (特殊外来)	
皮膚科	1診	徳住 正隆		松山 かなこ		守屋 智枝	
リハビリテーション科		当 番 医	当 番 医	当 番 医	当 番 医	当 番 医	*予約制

この色表示は、非常勤の医師を示しています。

※各診療科目担当医師については、都合により代診させていただきます場合があります。

- ◇受付時間 午前8時30分~午前11時30分まで
- ◇休診日 土日祝祭日、および年末年始(12月29日~1月3日)
- ◇面会時間 午後1時~8時まで

*印の診療科は、予約制となっております。
(初診でかかれる方は、あらかじめお電話でご予約をお願いします。)

2次救急当番のお知らせ

東濃厚生病院(瑞浪市)と輪番制で、土岐市、瑞浪市の2次救急当番を行っています。時間外や土曜日、日曜日、祝祭日については、毎週(火)(金)と第2、4(土)(日)が当院の2次救急当番になっており、救急車の受け入れを行っています。

(診療科によっては受け入れられない場合があります。)

土岐市立総合病院 併設：土岐市老人保健施設「やすらぎ」

〒509-5193 土岐市土岐津町土岐口703番地の24

電話：(0572)55-2111 FAX：(0572)54-8488 E-mail：byoin@city.tokilg.jp